

事務局だより ● 9月・10月 ● 合併特大号

(ミシンサポーター・さよ子さん) ▶



晩秋の候、秋らしい穏やかな日々が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。カラッとして気持ち良いですね。しかし喉やお肌には厳しい環境のようで、風邪をひく方・お顔のカサカサに悩まされている方も多いようです。睡眠と栄養を取って、どちら様もどうぞ用心なさって下さい。

さて、最近やけに、年齢と健康にまつわる会話が多くなりました。先日は、同年代の奥様と久々にゆっくりおしゃべり、子供達も県外で社会人として頑張っているとの事。ところが「私、心臓の発作で危機一髪だったの。緊急手術で復活できてから、すぐに子供達を集めて家族旅行して、もう元気だけど、何より今は自分の残り時間を意識して過ごすようになったわよねえ」と飄々と言うのです。また、お仕事現役で70代の方からは「今の健康に安住してはいけない」と言われました。お元気そうに見えますが、人知れず、あちこち痛いのかもかもしれないな・・・と感じました。

私は今のところ、忍び寄る老眼の兆しと、徹夜が出来なくなったことを受け入れる程度の変化ですが、そういえば、若い郵便局員さんに「今からの保険の見直しは、子供さんに増額するのではなく、ご自身の保障に重きを置いてください」と諭され、複雑な気持ちになったものです。人生も災害も、自助ということでしょうかね・・・。にわかに到来した人生100歳時代、

100歳までシュツとして生きるのは容易ではありませんが、前述の方の持論に依ればズバリ、

「いい人生だったなぁ〜」と言って死ねればそれでよか。」

至ってお気楽なようできて、自らに努力目標を課している！自分が、今日に満足していなければ言えない言葉です。

明日はわからないというのにまた先送りにした、おたより2ヶ月分、申し訳ありませんでした。

さあ、今日も頑張っている皆さんをご紹介しますまいりましょう！

* * * * *

ラジオ工作&電波教室 AMラジオを作りました 9月15日(土)



坂本敏明さん(写真・後列右)は久間コミュニティで公民館活動部長をされています。現役時代は電気メーカー勤務、アマチュア無線の大ベテランでもあります。現在はその特技を活かして、佐賀県電波適正利用推進員という、国からの派遣活動をされ、今回の教室も無償で実現して頂きました。

裏へ続く

サポーター:青木保さん・山口秀臣さん・伊東博幸さん(後列左4人目から順に)

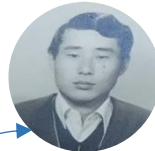
推進員（多久市）

とっても優しい秀島初哉さ

こちらは坂本さんアマチュア無線免許取得の頃



佐賀県電波適正利用推進員協議会会長の中村隆英さん（武雄市）。ものづくり大好き！の超・電波マニアです。コテ置き台を15台も手作りして寄贈して下さいました。



私ですが何か♡



基盤（緑色）に小さな部品をはんだ付け、約1時間で完成しAMの番組が聴こえました



坂本さんが初めてコミュニケーションを訪ねてくれたのは一年半前、旧事務所頃でした。管理職時代のビジネスのお話が、とてもわかりやすかったのを覚えています。そして間をおいて、今年の夏、再び訪問して下さいました。会長さんも加わり、ものづくり談義に沸き、その遊び心旺盛なことと言ったら半端ではありませんでした。



すぐに意気投合し、あつという間に開催へ動き出しました。準備するのは「はんだごて」と「人」。はんだごては、ユートクへ発注で済んだ、しかし人、これがイベントの恐怖です。坂本さんも中村会長も「何人集まりそうかな？」。メズお二人の携帯から、めいめいにお尋ねが入ります。「サポーター二・三人も頼む」・ええ?!今から言う??いや、悩んでいる暇は無し、咄嗟に今までの会話を振り返る。「伊東さんが仕事でコイルを使ってたな、山口さんは何でも出来そう、青木さんとはポルトとナットの話で盛り上がった」情報の糸口を手繰り寄せ、お三方から快諾を頂き、打合せもいまま当日は見事な指導補助の腕を奮って頂きました。綱渡りだったにも拘らず、感謝の他に言葉が見つかりません。有難う

ございました。そして何よりの主役、参加して下さいました子供達と親御さんに御礼申し上げます。今回の実践を機に、電波や理科に興味を持ってくれる方が出てくれれば本望です。第二回を開催したいという目標ができました。



環境整備部会 9月8日(土) 花いっぱい運動「プランターづくり」



環境整備部会はただいま急成長の部会です。その要因は、女性部会員の「おもしろそうね！やってみたいわね」の声、そして山口美智雄部会長の「やってみらんとわからん、あんたのよかごとしんしゃい」。メンバーも少なく、何をしたらいいのかわからず存続してきた部会、掴みどころないこのフワフワ感が冒険を呼び込みました。

実際、やってみないとわからない、のです。環境部会では“部会員でない”農家さん達がすでに不動地区でれんげ草畑の活動を盛り上げて下さっています。それに留まらず、さらに一般の方も部会の活動に参加してもらいた



いと思ひ、発案しました。回覧板や口コミで急きよ集まって下さった30名の皆さんは積極的に動いてくれ、(事務局は買材を用意しただけで)自然と道具が順番に並べられ、お母さん方がどんどん仕切ってくれ、男女問わず賑やかに作業できました。土曜の朝、たったの30分でこの笑顔、大成功だったかな！とほっとしたところです。(ステッカーを作りそびれたのが反省ですが。)



私達の小さなプランターが少しずつ校区内に増えていったら良いと思います。後片付けまで進めた皆さんのおかげで、気持ちの良い時間が過ごせました。どうもありがとうございました。

* * * * *



こちらは、十月九日夜、「れんげ畑」から収穫される「れんげ米」についての話し合いの様子です。耕作放棄地の景観改善から始まったれんげ草の種子配布が農閑期へ広がり一シーズンを通じ、ついには、れんげ草を鋤き込んだ水田生まれのお米へと繋がりました。収量増効果・種まき時期等、農家さんの大変貴重な経験談を自主的な集会で周知し、

研鑽を積んで下さっていただきます。



自ら時間を作り、意見交換される不動地区の皆さん



ミシンサポーターさん
ありがとうございました！



いのうえ えつこ さん



きしかわ きょうこ さん



きしかわ さよこ さん

9月28日、10月1日、15日の3日間、今年も轟小5・6年生のミシン作業のご指導に、6名の女性達が集まって下さいました。お住まいの地区も様々、手芸とお料理のスペシャリスト仲良しさん達です。この日のお洋服やバッグも手作りが多く、「学生時代にはブラウスの宿題が出たわ」とのこと。

また、ミシンがけの最中には、「結婚して赤ちゃんが生まれたら、ミシンでこうやって作ってあげるのよ」と女子とお話をしたり、本当に良い雰囲気での授業となっています。後日お会いした時も、「楽しかった～」と言って下さる方ばかりで、頭が下がる思いです。

しつけ縫いの代わりにアイロンで折り目をつけます



五年生も六年生も先生一人では回りきれないところを、班に一人ずつサポーターさんが付いてくれることで、予定以上に作業がはかどります



また、女子が男子に指導する姿も多く見られました。従順に従う男子、この構図がもう始まっているとは！



たなか せい さん

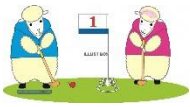


ながすえ すがこ さん



あおき れいこ さん

(写真がなくてすみません)



下岩屋一区

グラウンドゴルフ大会

10月21日(日)

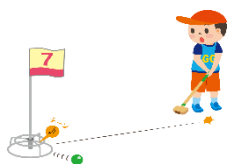
抜けるような青空のもと、下岩屋一区のグラウンドゴルフ大会が開催されました。(轟小校庭)

今回、初めて試合を観戦させて頂きました。役員さん・体育部さんの態勢がしっかりしていて、頼もしいなあ、というのが一番感じたところです。そして区の皆さんがとても楽しそうに賑やかにされていたので、陽だまりの中、打って歩いて笑って、これは健康的だと思いました。

そして今回は、コミュニティの要望を聞いて頂き、人が集まるこの日に、**第1回目の防災訓練**を開催させて頂きました。役員さんを初め、区民の皆様、ならびに2区・3区の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

当初は、嬉野消防署員さんより心肺蘇生法・AED・水消火器実演をご指導頂く予定でしたが、時間のやりくりが無理があり、とても長い時間お待たせした上、途中で終わる事になってしまいました。申し訳ありませんでした。今後改善し、訓練を続けて行きたいと思えます。大変勉強になりました。どうもありがとうございました。

太田嘉和区長さん、伊東副区長さん、太田和章さん、消防団5分団-7部長・松尾哲平さん、太田副部長さん、団員の皆さん、飯田体育部長さん、小野原副部長さん、役員・区民の皆様
感謝申し上げます。



第1回 防災訓練

10月21日(日) 11:30
 グラウンドゴルフ終了後、
 下岩屋1区の皆さん中心に

2区・3区の方も参加されました



約150名集まってくれました



試合後のお疲れにも拘らず、約一五〇名の方が参加して下さいました。嬉野消防署からは、濱崎さんと田中さんが指導に、また女性消防団の岡部長と橋村さんも同行してくれました。嬉野消防署の光武署長は、心肺蘇生法の重要性の周知に力を入れていられるそうで、濱崎さんはプロジェクトリーダーとして丁寧に説明して下さいました。救急車が到着、引き渡すまで絶えず心臓マッサージを続けることで、社会復帰を見据えた手助けができるのです。人形を使った実技では、「胸が五センチ沈むように、腕をまっすぐに、マッサージする」「仮に肋骨が骨折しても、救急隊員に引き継ぐまで押し続ける」まずは「119番、しないと救急車は来ません」大事です！

次はAEDの指導がありました。田中さんから「生後一ヶ月の赤ちゃんに、大人用のパッドを使うてはいけないと思う人」と問われ、半数以上が手を上げました。しかし正解は「使える」でした。「胸の面積が小さいので、パッドは胸と背中に貼ります」とのこと。習ったはずなのに忘れていました。皆さん大変熱心に講義を受けてくれました。ありがとうございました。うのも我が達で続けられ、ボケ防止によかね」という感想も区長さんにあったそうです、とても嬉しく思いました。

柔軟な訓練をこまめに継続し、防災や自助・共助の意識を高めていきたいと思

防災関係の講座に参加しました

詳細は次号に載せます

* * * * *

- ・10月4日(木) 14:00～(嬉野庁舎)「男女共同参画の視点でみる 熊本地震～今、私達にできることは～」くまもと県民交流館 パレア 館長：藤井有貴子(ゆきこ)さん [なぜ女性が避難所を運営すると、よりスムーズに行くのか。避難所も家庭と同じと考える、という単純なことに気付かされました]
- ・10月14日(日) 9:00～(武雄市文化会館)「佐賀県地域防災リーダーフォローアップ講座」 「晴れの国岡山 瀬戸内市の取組」江口健太氏、「想像を超える災害に備えた地域防災活動について」板井幸則氏 [自治会長とて災害時は我が家を守ってよい、最終責任はめいめいで][元消防署長、防災教育はお作法として若者へ]